



PROFILE

愛知県在住  
岡部雄志さん(33歳)  
彩花さん(32歳)  
挙式日:2022年7月16日  
挙式会場:飛騨大神宮  
護国神社  
披露宴会場:オーベルジュ飛驒の森  
ゲスト数:9名



食事会で出会い、2019年交際開始。  
雄志さんは香川県、彩花さんは滋賀  
県出身。将来カフェを開くことが夢。

初めて訪れる地で  
2日間共に過ごし  
両家の絆を結ぶ

2つの家族が一つになる

## 「会場は泊まれるレストラン。 私たちのコーヒーでおもてなし」

神宮に結婚を誓い、オーベルジュに移動してチェックイン。ラフなスタイルに着替えて、パーティがスタート。この日は乾杯酒から料理まで、すべてふたりが焙煎(ばいせん)した「コーヒー」を使った。シェフ渾身(こんしん)の一皿が並んだ。どの料理もワインとのペアリングが計算されたもので、口の中で響き合うハーモニーにゲストも感激。料理とお酒が進むにつれゲストが一つになつていいく。デザートタイムには、ふたりがコーヒーを淹れて振る舞つとい出は、各自の心と記憶(きおく)深く永く刻まれていくに違いない。

1年前の7月。ふたりと一緒に出掛けた彩花さん。向かったのは、深緑(しゆりょく)に囲まれた山中に佇む一軒のオーベルジュ。「シェフからここでフルオーダーメイドの結婚式ができると聞いて、ぜひやりたいと思ったんです」と彩花さん。元々結婚式はやつなくて、もよかつたといふたり。やるなら家族だけと決めた。「少しねじり家族を連れて来たい! 両家一緒に泊まる旅先での式は思い出に残ると思いました。結婚式は本来両家を繋ぐものですしね」。ふたりが招待したゲストは、家族と友人ののみ。由緒ある護国神社で飛騨大

ウエディングには、“特別な何か”があるようです。

はっきりと目に映るものかもしれないし

言葉にできないものかもしれないけれど、「挙げて良かった」と思える“特別な何か”。

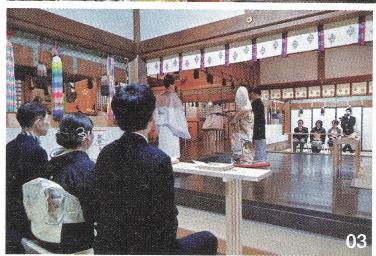
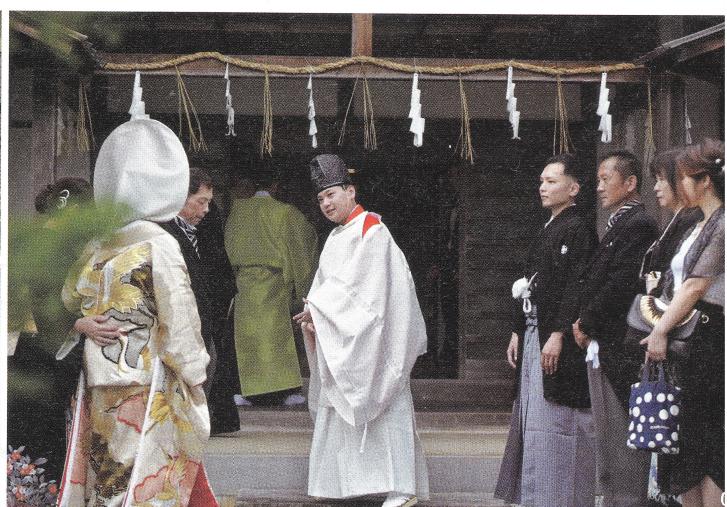
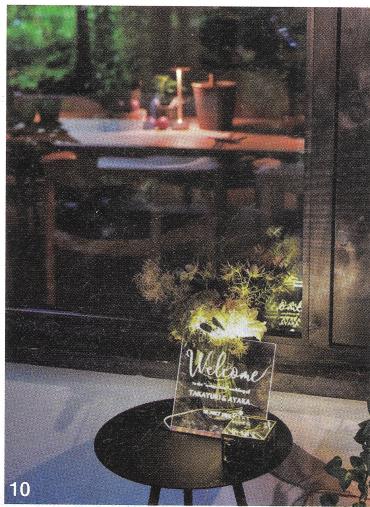
それは歩きだすふたりへの、エールに満ちた贈り物になりそう――。

東海

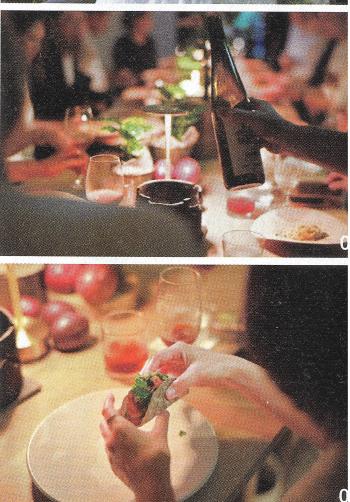
※掲載している演出(プログラム)に関しては、会場とご相談の上ご検討ください。

構成／朝比奈綾  
取材・文／真下智子(1・2組目)  
朝比奈綾(3組目)  
撮影／清水知成(1組目)、久保田敦(2組目)  
D／山本弥生、田中敦子

# Wedding!



01.本殿の前で彩花さんの家族の嫁行列を迎えた雄志さん一家 02.オーベルジュのテラスでのファーストミート。縁にふたりの白の衣裳が映えた 03.挙式が終わると先にふたりは退場。“片付けの儀式”には立ち会わないので護国神社のしきたり 04.“本当においしい!”と何度も口にしていた雄志さんの同僚 05.シェフだわりのナチュラルワインとのペアリング 06.料理は全てこの日のためのオリジナル 07.時間を気にせず食べて飲んで語って、笑い声は夜更けまで響いていた 08.紅差しの儀では、二人とも思わず涙を流し、それを父が静かに見守っていた 09.挙式後は気ままに記念撮影。雄志さんの父が突然号泣するどつられて母も。そんな二人をほほ笑みながら見守っていた雄志さん。家族だけのこんな時間もかけられない思い出に 10.宵闇に浮かぶ彩花さん手作りのウエルカムボード 11.実はバージンロードを歩くことを楽しみにしていた彩花さんの父。サプライズで父を呼び、パーティ会場に入場。少し緊張した面持ちでしっかりと彩花さんをエスコート



いつものふたり、いつものみんなだけど、  
“特別な何か”がある

What a

Wonderful